

国際婦人デー3・6東京集会に寄せられたメッセージ
大韓民国からのメッセージ
日本軍性奴隷制被害者に賠償せよ
米韓合同軍事演習を中止せよ！

在日韓国民民主女性会

反戦平和と女性解放のために日々闘争している皆さまに敬意を表します。そして、女性の皆様に連帯のご挨拶を申し上げます。

日本軍性奴隷制被害者一二名が日本政府を相手にした損害賠償請求訴訟で、ソウル地方裁判所は一月八日、「慰安婦」制度は「日本帝国によって計画的・組織的に強行された反人道的犯罪行為であり、国際強行規範に違反したものと判断し、日本政府に対して「被害者に各一億ウォン（約一〇〇〇万円）を賠償せよ」との判決を下しました。金学順さんが被害者であることを名乗り出してから三〇年ぶりの、初の勝訴裁判でした。

日本政府は日本軍性奴隷制問題に対し、誠実な謝罪と賠償を行ない、持続的な真相究明と正しい歴史教育をしなければなりません。被害者のハルモニ（おばあさん）たちは、高齢になっており、多くの人びとの連帯で一日も早い解決を勝ち取りたいです。

そして今、朝鮮半島を含む全世界で米国が犯した戦争犯罪と人道に反する犯罪を審判する国際民間法廷を開催するために、韓国国内で「国際民間法廷組織委員会」が発足されました。組織委員会は国際民間法廷の推進と「アメリカNPO国際平和行動」の二つを主軸として二年間、国際キャンペーンをはじめさまざまな活動を展開していく予定です。昨年九月からは、ソウルの米国大使館前で連日一人デモが展開されており、一月には韓国全土および全世界五〇か所以上の象徴的な都市での共同行動が提案されています。

わたしたちも二月二十二日に連帯する日本の友人とともに、駐日米国大使館および韓国大使館に対し「韓米合同軍事演習の中止」を求める要請行動を行ないました。今後はよりいっそう、「駐韓米軍撤退」、「国家保安法廃止」の声をあげていきたいと思っています。

反戦・平和・女性解放には、わたしたち女性が主体的に活動し、連帯していくことが大切だと思っています。共に闘っていきましょう！

(『思想運動』1063号 2021年4月1日号)